



裏

桜蘭高校ホステス部ヒミツ倶楽部

恋愛漫画家

18
For Adult



前作までのあらすじ

海合宿の際、何となく流れと勢いでセックスしたハルヒと環。
その後も、何となく関係が続いていた。
が、それを鏡夜が察知。
部の全員でハルヒの相手をするようになった。

ショク直球のハニー先輩・巨根なモリ先輩・悪戯ばかりの光と馨
医療プレイでDSの鏡夜・何だかんだで肉体的には一番馴染んでる環。
更に、強面なのにやけに初々しいボサノバ君も仲間入り。
それぞれ多種多様なプレイの相手をこなすハルヒは、
「段々馴染んじゃってるけどいいのかなあ」と多少疑問を感じつつも
まあいっか、と持ち前の順応力で日々を過ごすのだった。

裏

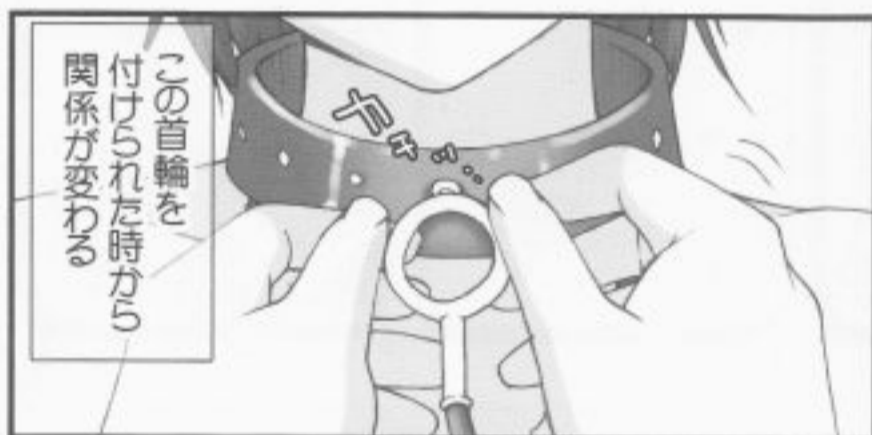
桜蘭高校ホスト部ヒミツ倶楽部



よし…
服を脱いだら
こっちに来い

今日もこれから
診察を兼ねた
調教の時間が
始まる

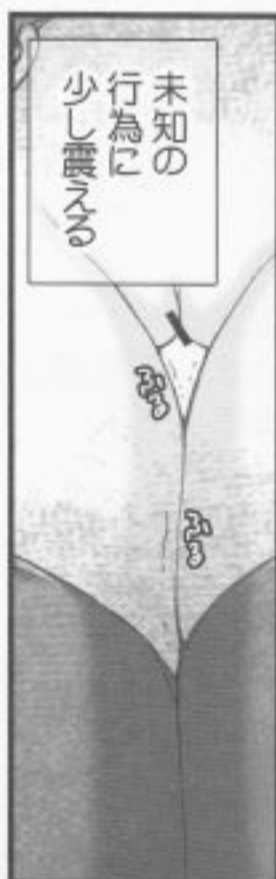
はい…
よろしく
お願いします



この首輪を
付けられた時から
関係が変わる



昨日は
エネマ
だったからな



未知の
行為に
少し震える



それが
カテーテル
ですか…

鏡夜先輩は、きっと自分本人より、「藤岡ハルヒ」の身体を知っている。

初めて先輩に裸を晒した時、自分は徹底的に身体を調べられた。身体検査のデータなんか入手してるはずなのに、一から測り直されて、更には各パーツごとのサイズも計測された。

そこまでは、聊（りょう）ずかしくはあったけど病院で行われる診察の延長線上のような感じだったから、割と自然に受け入れられた。

けれど、それが終わり、鏡夜先輩が全裸になり、自分を触り始めた時から状況が一変した。

身体の隅から隅まで、全ての性感帯が無理矢理掘り起こされたのだ。くすぐったさを、力技で快感へと変化させられる苦しみに、身体も脳も精神も耐え切れずに、何度と無く失神しそうになり、終には失禁した。

人生で一番泣いた。
号泣だった。

その後、取り決めが為された。
・調教を受ける時は首輪をする
・調教中は「ご主人様」と呼ぶ
・それ以外の時は普通の関係でいる
これを守っておけば、どれだけ身体が変わってしまっても、日常では普通でいられるから、と。

確かに、それ以降信じられないほどの苦痛や羞恥で身体を染め抜かれても、首輪を外せば、いつも通りの日常の「藤岡ハルヒ」でいられた。

先輩には感謝してる。
男性の身体を精神を教え込まれたからみんなとのセックスも楽しめるようになったから。
「私が女である」事の喜びを教えてくれたから。

そして今日も。
先輩に、私は、変えられる。

昨日後ろだったから
今日は前ですか…

連日エネマでは
身体に負担が
掛かるからな

さて…
まずは
挨拶からだ

えっと
ご主人様—
ご奉仕させて
いただきます—

超棒読み

……
これに関しては
まだまだ
これからな

まずは
消毒からだ
し易いように
股を開け

それに…
不安のせいで
アソコと一緒に
心も…
冷えそつぽなる

あ…ん…
冷たくて
ちよつと
沁みるみたいです…

でも…
少しづつ
それが
快感になってる



入れやすいように
入り口を広げるんだ

……
こう……
ですか？

ああ……
異物を受け入れる
瞬間はいつも……
少しだけ怖い

そうだ……
力を抜いて
動くなよ

くぼ
め



……
うあつ……

い……たつ

ほら
もっと力を
抜かないと

い……痛い……
入り口と
お腹の中……

でも……
なんぼ……
この感じは……？



……
はあ……
何か変な
感じです……

は……

は……

……
……

まだ早い
変になるのは
これからだ



へっひっひっ...

膀胱が...
下腹全体が
変になる!



何これ...
おしっこが...
増えてる??



え...
ああっ!?



入れるぞ...
リラックスして
受け入れろ



...よし
いいだろう



だ...
駄目ですもう
...ご主人様...
出させてください
お願いします...

ああ...
頭の中が
痺れてきた...



どんな感じだ?
エネマとは
また違った趣が
あると思うが



そ...
そりや
違いますけど

うう...
いっぱい
なっちゃってる...

出ちやうし……!!

何これ…
勝手に
出ちやうし…
変な感じ…





はー
はー
は……い……
ありが……と……
ごめ……す

あ……あ……
あ……あ……
あ……あ……
あ……あ……
あ……あ……
あ……あ……
あ……あ……
あ……あ……
あ……あ……
あ……あ……



よし……
良く頑張ったから
ご褒美をやるう

気持ち良く
絶頂せてやるから
俺に跨れ



あ……
あ……あ……
溜……っ……て……い……く……
音……が……し……て……る……
お漏らし
して……る……み……た……い……で
恥……ず……か……し……い……

ああ…
前も後も
塞がれると
頭も身体も
興奮して
湯けそうに
なる…

さてハルヒ
お前がアナルで
初めて絶頂したのは
どうやってだったか？

ヘニスの
挿入も
ヘニスでの
絶頂も…

そうやって
ご主人様に
指でされて…です

アナルは
全て…
ご主人様が
初めてです…

そう…
先輩に全部
開発されちゃった…

何だ…
じゃあご褒美も
アナルの方が
良かったか？

いえ…
このやり方が
一番好きです…

だからもう
絶頂しそうに
なってる…

ああ…
お汁止まらない…
クリも膣内も
アナルも凄い…

アナルと膣の壁を
グリグリされるの
興奮しちゃう…

よし…
出すぞハルヒ！



先輩っ！
あつ

あつ...
あつ...

あつ...
あつ...

あつ...
あつ...

何だかんだ言って、鏡夜先輩は優しい。

自分を調教してるのも、もちろん自分の興味を満たすのもあるだろうけど、それ以上に自分を含めたホスト部みんなの楽しみのためなんだと思う。

健康管理はしっかりされてるみたい。事実、身体の調子はいつも良いし。

授業や受験に影響が出ないように、時間をとって勉強も見てもらってる。

それは、他の部員たちも同じだ。

ハニー先輩とモリ先輩は、最上級生らしく部のみんなを見守ってくれてるし。

光と馨も、余計なイタズラとかをしてちょっかいを掛けてくるけど、ちゃんと許容範囲を図りながら、周りを楽しませるようにやってる。

カサノバ君は部員じゃないけど、自分の事を心配してしょっちゅう様子を見に来てくれる。

環先輩は……

ウザいしうっとおしいしうるさいし、でも、いつだって誰よりも真剣で真面目に部長としてみんなを心配してる。とても分かりにくいけど。

全部、何となく分かった。でも、実際に肌を合わせてみて、それで確かに実感できた。

自分は、みんなに大切にされている。だから、自分もみんなを大切にしたい。

恥ずかしいから、中々直接は言えないけど。

みんな、大好きです。

だから、自分に出来る事は、出来るだけみんなにしてあげたい。

今の、正直な気持ち。



モリ先輩との立ちバック。
自分の体重が軽いのと、身長差があるせいで
足が宙に浮いてしまう。
そうすると、自分では身動きは制限されて
ただ先輩にされるがままになる。

この状態がまた、被虐感を煽らせる。
まるで自分が、射精されるために存在する
いやらしい人形のように思ってしまうのだ。
初めはそんな事考えてなかったのだけど、
前に双子にダッチワイフの存在を知らされた時に
「今のハルヒも同じ感じだね」と言われ、
その時は怒って二人を叩いて済ませただけ。

今、自分がダッチワイフとなっている想像で
昂ぶり陰部を濡らせている。

はい……
出すなら
奥の方で
出して
ほしいです……

ハルヒ……
そろそろ
いいか？

先輩っ！

モリ先輩の硬くて大きなペニスに、
興奮していつも以上に粘度の増した
自分の愛液が塗され、ヌルヌルと
出たり入ったりしている。

自分の淫乱さに呆れてしまう。
いやらしい自分。
その事実がまた自分を昂ぶらせる。

ああ……
搾り取りたいのに
先輩のが大き過ぎて
締め付け切れないや……



ま…マジか
藤岡…
本当にそんな…

うん
カサノバ君に
してほしいんだ

尻の穴…

時
時
時

うおお…
すげえ…
こんな狭い中に
入るなんて…



カサノバ君は
大切な友達だから
いっぱい
気持ち良くして
あげたいんだ…

ああ…
俺は今
滅茶苦茶
気持ち良く
なってるぞ…

くっそー
男の制服着ても
マジ可愛いぜ
藤岡

くっ…
出させてもらっぜ
藤岡っ

うん
いっぱい出して
カサノバ君…

カサノバ君は凄いい人で
いつも自分に気を
掛けてくれる
けれど誤解で
怖がられたりして
だからその分自分が
色んな事をして
あげたくなる

うあ…
お尻の中に
沢山流れ込んでくるよ…



ハルヒ…
そんなに足で
挟まれると
動きが…

ああ
すみません…
つい先輩と密着したくて
足で絡み付いちゃいました

環先輩に
中で出して
ほしくなると
無意識に
しちゃうん
ですよ…

環先輩とは正常位が多い。

初めてした時からもそうだし、
みんなと始めてからも
割と色んな事を試したけど、
結局この形に落ち着いた。

先輩の気持ち良さそうな顔を
眺めながら受け入れるのが
何となく嬉しくて安心する。

先輩の射精を受け止めながら絶
頂する時は全身がドキドキして
胸がいっぱいになる。

ハニー先輩は「それは幸福感だね♪」だって。
そうなのかな。
どうなのかな。

俺のが…
中に欲しいのか？

…ハルヒっ♡

…ええ
そうです





お疲れさまでした！

前作のヒミツ倶楽部ですが、キャラが多かったために、一人当たりのエッチシーンがどうしても薄くなってしまいました。もっと濃い部分で描きたいという欲求が残ってしまいました。

と、言うことでその不満を解消するために続きを描く事にしました。その中でも、一番の重要人物である鏡夜をピックアップ。マニアックな攻めを描いてみました。

描けた事に関しては、概ね満足してます。

ただ、もっと言葉使いに凝りたかったという後悔は残ってます…かなり勢い任せでやってるので、後で読み返して「ここは違ったな」とか思いそうですが、まあいつもの事。時間の限られる中では最大限やり切れたと思います。

やーもう、描いててハルヒが可愛くてしょうがなかった！

嫁に来てくれないかな。

子供4人くらい作って賑やかな家庭にしたい。

一人っ子の寂しさは肌で感じてるだろうから、それを払拭してあげたいな。

などなど取りとめも無く。

楽しんでもらえたのなら嬉しいです。

次の機会がありましたら、またよろしくお願いします。

製作
恋愛漫画家

発行日
2006年12月31日

印刷
Power Print

連絡先
hironasu@mud.biglobe.ne.jp

HP
<http://www.renai-manga.com/>

無断転載・複製はお止めください

裏

おらんこころはのトクケラらとヨツケラ
桜蘭高校ホスト部ヒミツ倶楽部



裏

桜蘭高校ホスト部ヒミツ倶楽部

恋愛漫画家